

2022 年度 教育 研究 活動 紹介 用 紙 (様式 9)

氏名	梶原江美	職名	教授	学位	修士 (看護学) (佐賀医科大学 2003 年)
----	------	----	----	----	--------------------------

研 究 分 野	研究内容のキーワード
基礎看護学 看護教育学	ラテックスアレルギー 看護基礎教育 看護技術 コミュニケーション

研 究 課 題
ラテックスアレルギーの予防に関する研究 看護基礎教育における効果的な教育方法に関する研究 ケアリングに関する研究

担 当 授 業 科 目
看護技術論演習 (前期) (看護学科) 生活援助技術論演習 (後期) (看護学科) ヘルスアセスメント演習 (後期) (看護学科) 診療関連技術論演習 (前期) (看護学科) 看護過程論 (前期) (看護学科) 早期看護実習 (前期) (看護学科) 基礎看護学実習 I (後期) (看護学科) 基礎看護学実習 II (前期) (看護学科) 看護総合演習 (前期・後期) (看護学科) 看護総合実習 (前期・後期) (看護学科)

授業を行う上で工夫した (する予定の) 事項
<p>授業科目名【看護技術論演習】</p> <p>1 年次前期必修科目 1 単位で講義と演習形式で行う。内容は、「看護技術概説」「感染予防技術 (スタンダードプリコーション)」「安全を守る技術 (ボディメカニクスとポジショニング)」「環境調整技術」「コミュニケーション」「記録・報告」について教授する。履修学年が 1 年生であることから、看護への動機づけを行うとともに、わかりやすい説明を心掛ける。同時に、演習形式で実際に技術を教授するため、可能な限り、実践しながら根拠を説明するように心がける。</p>
<p>授業科目名【生活援助技術論演習】</p> <p>1 年次後期必修科目 2 単位で講義と演習形式で行う。内容は、「活動と休息」「清潔」「食事」「排泄」について教授する。日々の生活の中で自分たちの日常生活行動を振り返ることで、疾病や障害を持って自立した生活行動ができなくなった場合の援助方法について考える。その後、一つの基本的な援助方法を基に考え方と根拠を理解し、看護技術を実践する。</p>
<p>授業科目名【ヘルスアセスメント演習】</p> <p>1 年次後期必修科目 1 単位で講義と演習形式で行う。内容は、ヘルスアセスメントの意義と「生きている」ことをアセスメントするうえで必要となる「循環器系」「呼吸器系」「消化器系」、「生きていく」ことをアセスメントするうえで必要となる「感覚器系」「中枢神経系」「筋・骨格器系」のフィジカルアセスメントである。必要に応じて、演習指導や実技試験の評価を通して、看護形態機能学の知識に基づいたアセスメントの考え方を説明し、理解を深めていく。</p>

<p>授業科目名【診療関連技術論演習】</p> <p>2 年次前期必修科目 2 単位で講義と演習形式で行う。必要に応じて、演習指導や実技試験の評価を通して、看護形態機能学の知識に基づいたアセスメントの考え方を説明し、理解を深めていく。</p>
<p>授業科目名【看護過程論】</p> <p>2 年次前期必修科目 2 単位で講義と演習形式で行う。グループワークで、6 名/G で構成される 3 グループ 18 名を担当し、事例を基に一連の看護過程を展開するうえでの基本的な考え方や方法を教授する。この科目は、基礎看護学だけにとどまらず、その後の各領域別実習でも共通の思考過程をたどる。また、看護過程の思考過程が身につくと、看護実践が面白くなるという要素がある。そのため、学生の苦手意識を最小限にし、グループでわからないことをわからないと言える雰囲気づくりと看護における看護過程の思考の重要性と理解できた時の面白さについても伝えていきたい。</p>
<p>授業科目名【早期看護実習】</p> <p>1 年次前期必修科目 1 単位の实習形式で行う。看護の対象者の療養環境を知り、生活を整える意味について考える機会とする。また、看護師と患者のコミュニケーションを通して、看護におけるコミュニケーションの在り方、看護学生に求められる態度や姿勢についても学ぶ機会とする。病院実習を担当し、学生の動機づけを行う。</p>
<p>授業科目名【基礎看護学実習Ⅰ】</p> <p>1 年次後期必修科目 1 単位の实習形式で行う。初めて受け持ち患者を持ち、受け持ち患者や実習指導者とのコミュニケーションを通して、患者との関係構築と生活上のニーズの充足を目指す援助について考え、実施することを目指す。学生は、慣れない環境の中で不安と緊張が高まるため、心理的变化に注意しながら一つの達成感を得ながら自分の課題を考えられるように支援していく。</p>
<p>授業科目名【基礎看護学実習Ⅱ】</p> <p>2 年次前期必修科目 2 単位の实習形式で行う。受け持ち患者を通して、初めての看護過程の展開を病院で行う。学生は、まだ実習に慣れておらず不安と緊張、実習への期待が入り混じる。そのため、ひとつひとつの患者の生活行動と患者の心理に目を向けながら、患者のニーズの充足を目指した看護を学生自身が考えられるように支援していく。</p>
<p>授業科目名【看護総合演習】</p> <p>4 年次前期・後期必修科目 2 単位の演習形式で行う。ゼミ生 5 名に対して、看護総合実習に向けて、テーマ選択から文献収集、文献を用いた抄読会を実施し、計画立案の指導を行う。また、次年度は看護師として働いていることを想定した意識づけや国家試験対策についても支援していく。</p>
<p>授業科目名【看護総合実習】</p> <p>4 年次前期・後期必修科目 2 単位の实習形式で行う。ゼミ生 5 名が看護総合演習で立案した計画を基に、病院での実習を行う。学生が自ら実習の中で看護師と調整をしたり、多職種との連携を考える機会とするなど目的意識を持って自ら学ぶ実習にすることを旨として支援する。</p>

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本看護協会会員	選挙管理委員会委員 (2021 年 7 月～2023 年)	1996 年 4 月～現在に至る
日本看護研究学会会員		2000 年 9 月～現在に至る
日本看護科学学会会員		2003 年 3 月～現在に至る
日本看護診断学会会員		2003 年 5 月～現在に至る
日本看護学教育学会会員		2005 年 4 月～現在に至る
日本看護技術学会会員		2010 年 4 月～現在に至る
日本看護倫理学会会員		2011 年 2 月～現在に至る
STTI 会員		2011 年 12 月～現在に至る
日本看護管理学会会員		2012 年 7 月～現在に至る
日本ラテックスアレルギー研究		2015 年 4 月～現在に至る

会会員 特定非営利活動法人日本コクラ ンセンター 日本看護福祉学会 日本医療・病院管理学会		2019年～現在に至る 2018年5月～現在に至る 2020年2月～現在に至る
---	--	---

社 会 に お け る 活 動 等		
団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等	任 期 間 等
特になし	特になし	特になし

学 内 に お け る 活 動 等 (役職、委員、学生支援など)
大学委員会：入学試験委員会委員 学科役割：1年生アドバイザー 学科プロジェクト 4年生アドバイザー